

# C9800でのISSUアップグレードのトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[事前チェックリスト](#)

[潜在的な問題](#)

[問題1: 接続がタイムアウト](#)

[問題2: ファイルが無効または破損している](#)

[問題3: インストール操作が許可されない。](#)

[問題4: 以前のバージョンへのシステムのロールバック。](#)

[問題5: 設定の互換性](#)

[コマンドリストの不一致 - クラウドコントローラでのHAインターフェイスの不一致](#)

[コマンドリストの不一致 - ドメイン](#)

[コマンドリストの不一致 - HSRPトラップ](#)

[パーサーリターンコード - WPA3 AKMが無効です](#)

[ソフトウェアのインストールの中止](#)

[インストールの中断の問題](#)

[インストール状態のクリア](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、ISSUアップグレードの事前チェックリストと、Cisco Catalyst 9800シリーズワイヤレスコントローラの潜在的な問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Catalyst 9800ワイヤレスコントローラ
- ハイアベイラビリティステートフルスイッチオーバー(HA SSO)

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- HA SSOペアバージョンCisco IOS 17.9.4aおよび17.9.5のCisco Catalyst 9800-L Wireless Controller
- APモデル(C9130AXI、C9120AXI/E、C9115AXI、AIR-AP4800、AIR-AP3802I/E、AIR-LAP3702I、AIR-AP1852I)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

ISSUを実行するには、次のような背景情報が必要です。

- デバイスはHA SSOペアである必要があります。
- ISSUは、Cisco Catalyst 9800-80、9800-40、9800-L、9800-CL（プライベートクラウド）のデバイスでのアップグレードのみをサポートしています。
- ISSUダウングレードは、Cisco Catalyst 9800シリーズワイヤレスコントローラプラットフォームではサポートされていません。
- ベースイメージはCisco IOS 17.3以降である必要があります。
- ISSUは、同じメジャーリリースからの長期リリース間でサポートされます。例：Cisco IOS 17.6.xから17.6.y、または17.6.xから17.9.xがサポートされます。
- ISSUは、メジャーリリース間ではサポートされません。例：Cisco IOS 16.x.xから17.x.xへの移行、または17.x.xから18.x.xへの移行はサポートされていません。

---



注：リリース間のISSUサポートの詳細については、In-Service Software Upgrade(ISSU)を参照してください。

---

## 事前チェックリスト

ネットワークが9800コントローラでIn-Service Software Upgrade(ISSU)オプションを使用してパケットを転送している間に、システムが現在のソフトウェアを新しいリリースにアップグレードするのに十分な準備ができていることを確認します。

- アクティブコントローラとスタンバイコントローラの両方がインストールモードであり、`bootflash:packages.conf`から起動していることを確認します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show version | i Installation mode
```

Installation mode is

INSTALL

WLC#

show boot

BOOT variable =

bootflash:packages.conf

,12;

CONFIG\_FILE variable =

BOOTLDR variable does not exist

Configuration register is 0x2102

Standby BOOT variable =

bootflash:packages.conf

,12;

Standby CONFIG\_FILE variable =

Standby BOOTLDR variable does not exist

Standby Configuration register is 0x2102



注:ISSUはバンドルモードではサポートされません。変換方法については、『Catalyst 9800ワイヤレスコントローラのインストールモードの変更』テクニカルノートを参照してください。

- 
- 両方のシャーシに同じ最新のROMMONバージョンがあることを確認します。この要件は、物理アプライアンスにのみ適用されます。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show rom-monitor chassis active r0
```

```
=====
System Bootstrap,
```

```
Version 16.12(3r)
```

```
, RELEASE SOFTWARE
```

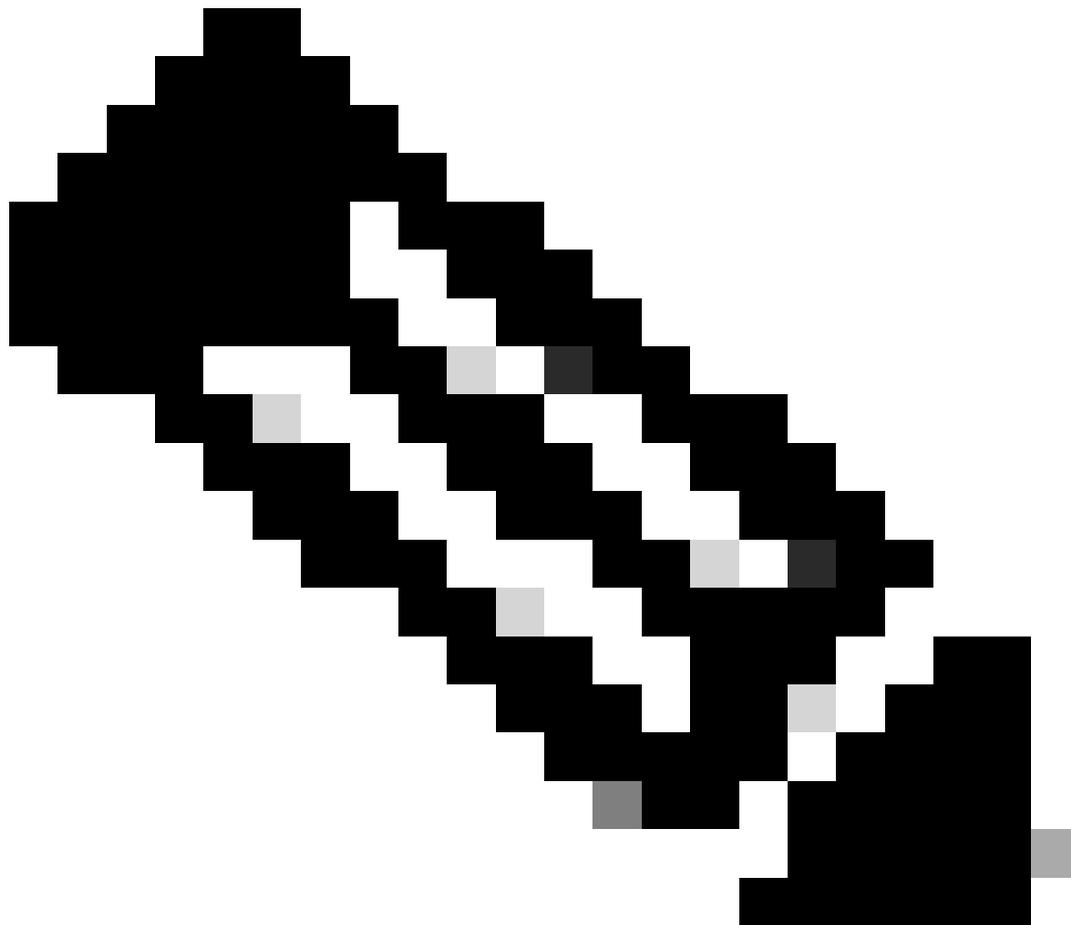
```
Copyright (c) 1994-2019 by cisco Systems, Inc.
```

WLC#

```
show rom-monitor chassis standby r0
```

```
=====  
System Bootstrap,  
  
Version 16.12(3r)  
  
, RELEASE SOFTWARE  
Copyright (c) 1994-2019 by cisco Systems, Inc.
```

---



注：最新のROMMON情報とアップグレード手順を確認するには、『Cisco Catalyst 9800用のフィールドプログラマブルハードウェアデバイスのアップグレード』を参照してください。

- 
- HA SSOがアップ状態で正常であることを確認します。

<#root>

WLC#

show chassis rmi

Chassis/Stack Mac Address : f4bd.9e57.9d80 - Local Mac Address

Mac persistency wait time: Indefinite

Local Redundancy Port Type: Twisted Pair

Chassis#	Role	Mac Address	Priority	H/W Version	Current State	IP	RMI-IP
*1	Active	f4bd.9e57.9d80	2	V02			

Ready

169.254.10.2 NA

<--Both Chassis in Ready state

2	Standby	f4bd.9e57.8b20	1	V02			
---	---------	----------------	---	-----	--	--	--

Ready

169.254.10.4 NA

常に冗長性情報を確認し、ピアコントローラが「スタンバイホット」で、通信が「アップ」であることを確認します。また、常にスタンバイピアコントローラのコマンドラインに移動し、Recovery状態になっていないことを確認します。

<#root>

WLC#

show redundancy

Redundant System Information :

-----  
Available system uptime = 8 hours, 38 minutes  
Switchovers system experienced = 0  
Standby failures = 0  
Last switchover reason = none  
Hardware Mode = Duplex  
Configured Redundancy Mode = sso  
Operating Redundancy Mode = sso  
Maintenance Mode = Disabled  
Communications =

Up

Current Processor Information

:

-----  
Active Location = slot 1  
Current Software state =

ACTIVE

Uptime in current state = 8 hours, 38 minutes

Image Version = Cisco IOS Software [Cupertino], C9800 Software (C9800\_IOSXE-K9), Versi

Technical Support: <http://www.cisco.com/techsupport>

Copyright (c) 1986-2023 by Cisco Systems, Inc.

Compiled Fri 20-Oct-23 10:28 by mcpre

BOOT =

bootflash:packages.conf

,12;

CONFIG\_FILE =

Configuration register = 0x2102

Recovery mode = Not Applicable

Fast Switchover = Enabled

Initial Garp = Enabled

Peer Processor Information

:

-----  
Standby Location = slot 2

Current Software state =

STANDBY HOT

Uptime in current state = 8 hours, 35 minutes

Image Version = Cisco IOS Software [Cupertino], C9800 Software (C9800\_IOSXE-K9), Versi

Technical Support: <http://www.cisco.com/techsupport>

Copyright (c) 1986-2023 by Cisco Systems, Inc.

Compiled Fri 20-Oct-23 10:28 by mcpre

BOOT =

bootflash:packages.conf

,12;

CONFIG\_FILE =

Configuration register = 0x2102

- C9800-CLの場合は、show romvarコマンドを使用して、両方のシャーシが同じHAインターフェイスを持つことを確認します。

<#root>

WLC\_CL#

show romvar

ROMMON variables:

SWITCH\_NUMBER = 1

CHASSIS\_HA\_IFNAME = GigabitEthernet3

<<< Same HA interface

CHASSIS\_HA\_IFMAC = XX:XX:XX:XX:XX:XX

```
SWITCH_PRIORITY = 2
```

```
WLC_CL-stby#
```

```
show romvar
```

```
ROMMON variables:
```

```
SWITCH_NUMBER = 2
```

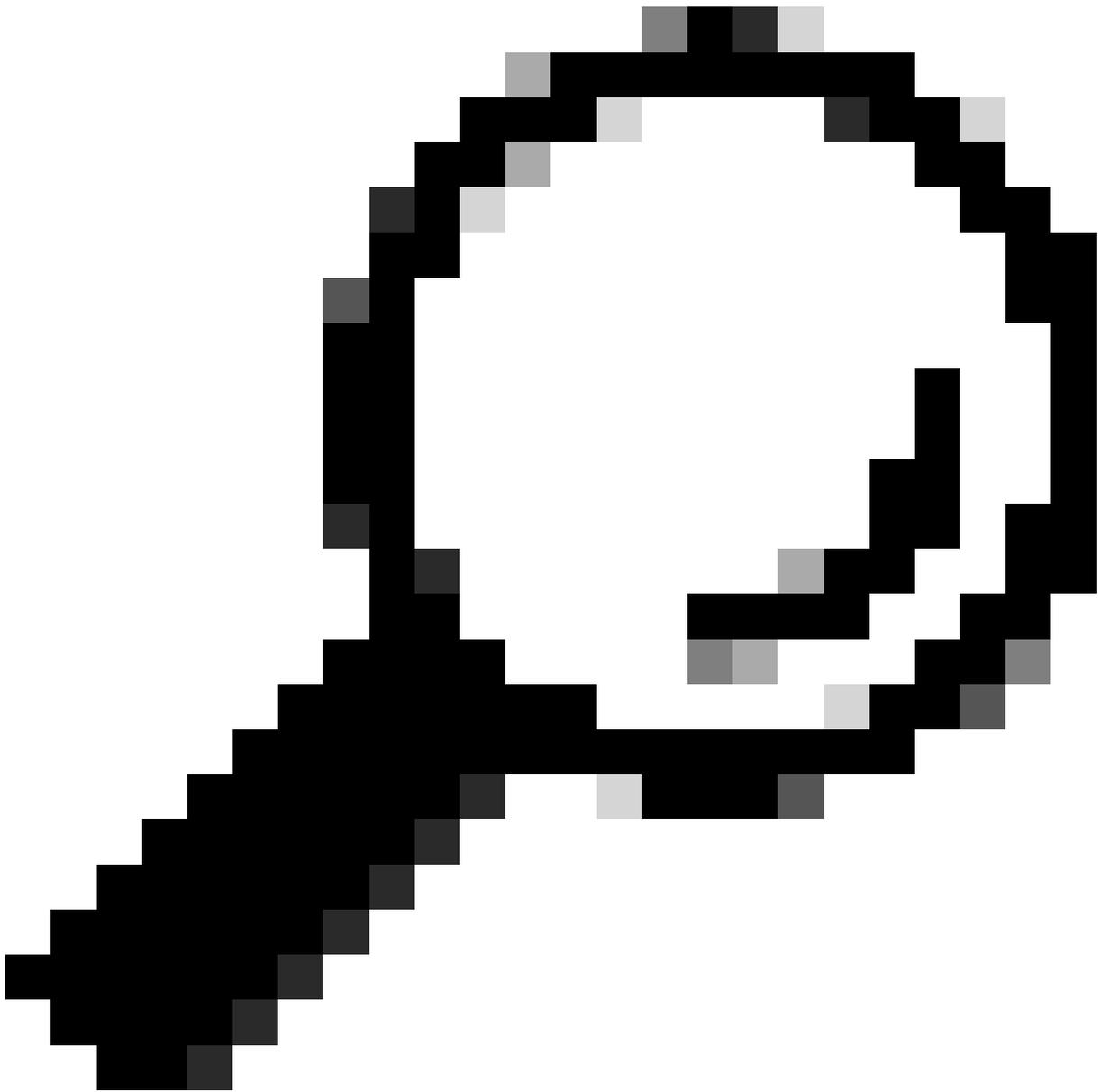
```
CHASSIS_HA_IFNAME = GigabitEthernet3
```

```
<<< Same HA interface
```

```
CHASSIS_HA_IFMAC = YY:YY:YY:YY:YY:YY
```

```
SWITCH_PRIORITY = 1
```

HAインターフェイス番号が異なる場合は、ISSUを実行しないでください。このドキュメントの「潜在的な問題」セクションを参照してください。



ヒント:HA SSOのセットアップと検証の詳細については、『Catalyst 9800でのハイアベイラビリティSSO(High Availability SSO on Catalyst Quick Start Guide)』を参照してください。

- 
- アクティブとスタンバイの両方のコントローラにイメージを保存するのに十分なブートフラッシュメモリがあることを確認し、新しいコードのサイズの3倍以上の領域があることを確認します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
dir bootflash: | in free
```

```
26458804224 bytes total (
21142224896 bytes free
)
WLC#
dir stby-bootflash: | in free
```

```
26458804224 bytes total (
21293092864 bytes free
)
```

ブートフラッシュに十分な領域がない場合は、install remove inactiveコマンドを使用して古いインストールファイルをクリーンアップすることを検討します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
install remove inactive
```

```
install_remove: START Mon Feb 12 18:40:00 UTC 2024
install_remove: Removing IMG
Cleaning up unnecessary package files
...
```

```
The following files will be deleted:
```

```
<-- Review files to be deleted
```

```
[R0]: /bootflash/C9800-CL-rpboot.17.09.04.SPA.pkg
[R1]: /bootflash/C9800-CL-rpboot.17.09.04.SPA.pkg
[R0]: /bootflash/C9800-CL-universalk9.17.12.01.SPA.bin
[R1]: /bootflash/C9800-CL-universalk9.17.12.01.SPA.bin
[R0]: /bootflash/C9800-CL-mono-universalk9.17.09.04.SPA.pkg
[R1]: /bootflash/C9800-CL-mono-universalk9.17.09.04.SPA.pkg
```

```
Do you want to remove the above files? [y/n] y
```

- 現在のインストール状態を確認します。コントローラに非アクティブまたはコミットされていないソフトウェアがないことを確認します。現在のバージョンは「C」とマークされている必要があります。つまり、「Activated and Committed」です。システム内のアクティブなパッケージの要約を表示するには、show install summaryコマンドを使用します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show install summary
```

[ Chassis 1/R0 ] Installed Package(s) Information:  
State (St): I - Inactive, U - Activated & Uncommitted,  
C - Activated & Committed, D - Deactivated & Uncommitted

```
-----  
Type St  Filename/Version  
-----  
IMG   C   17.09.04a.0.6   <-- Only one version can be activated and committed.
```

```
-----  
Auto abort timer: inactive  
-----
```

- show issu state detailコマンドを使用してISSU状態を検証し、「No ISSU operation is in progress」であることを確認します。

<#root>

WLC#

show issu state detail

Current ISSU Status: Enabled

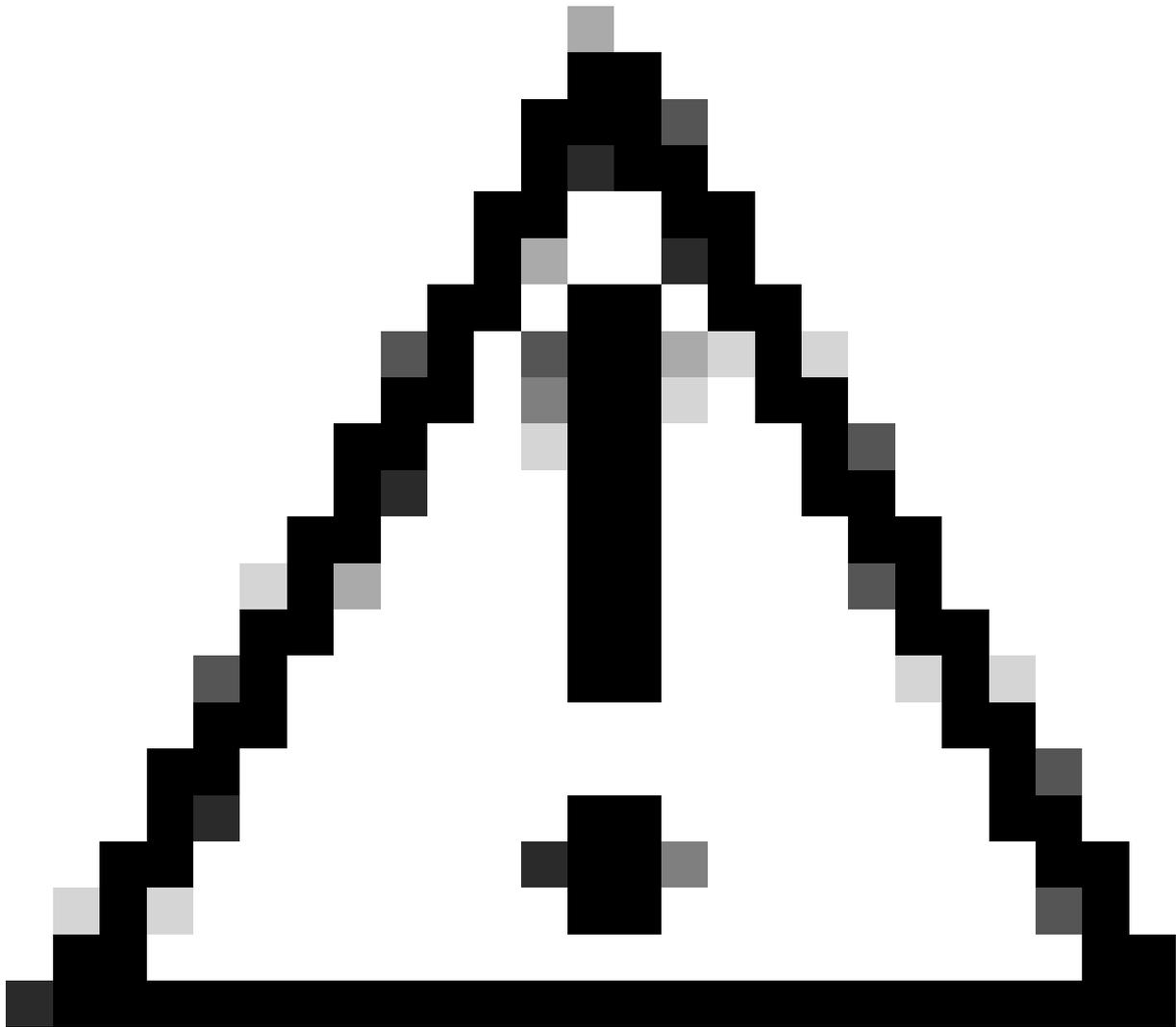
Previous ISSU Operation: N/A

```
=====
```

System Check	Status
Platform ISSU Support	Yes
Standby Online	Yes
Autoboot Enabled	Yes
SSO Mode	Yes
Install Boot	Yes
Valid Boot Media	Yes
Operational Mode	HA-REMOTE

```
=====
```

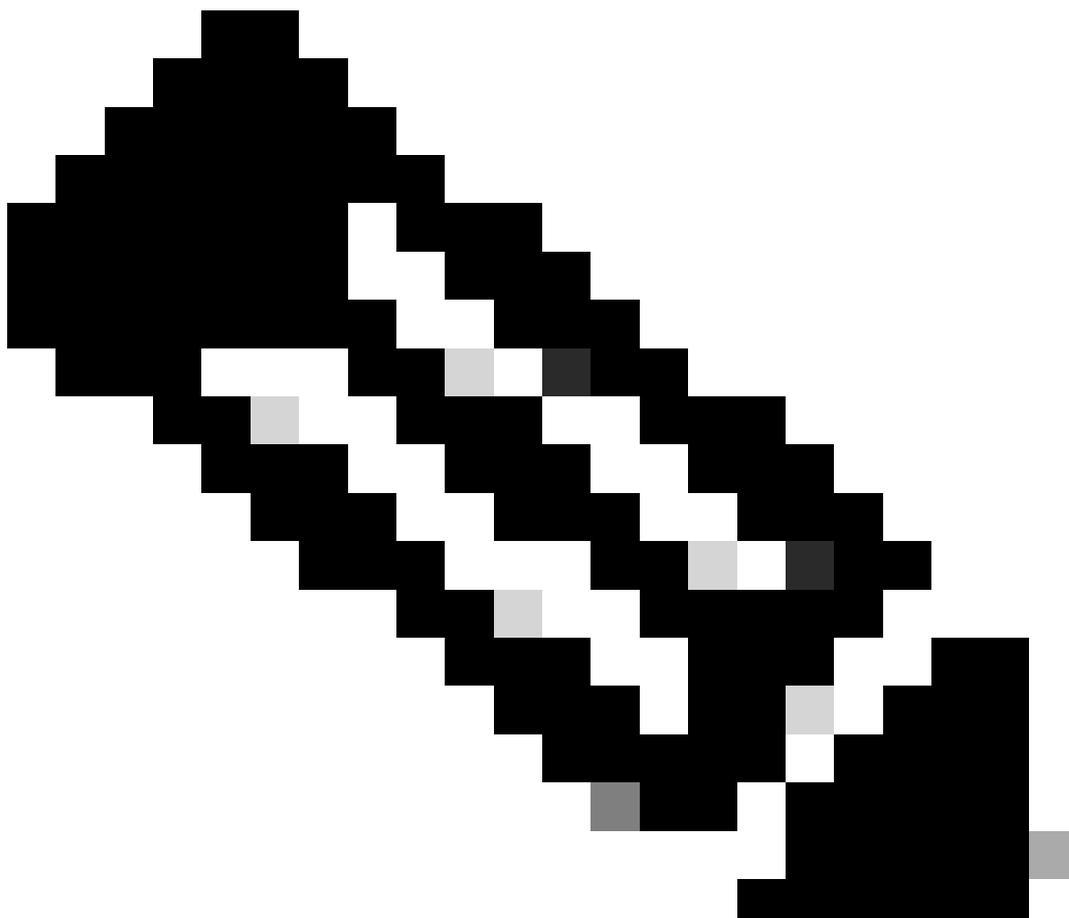
No ISSU operation is in progress <-- If different consider abort any previous ISSU process.



注意：ネットワークが安定して安定している場合はアップグレードをスケジュールし、ISSUアップグレードプロセス中は電源の中断を避けてください。

---

---



注：ISSUアップグレードについては、『Cisco Catalyst 9800シリーズワイヤレスコントローラソフトウェアコンフィギュレーションガイドからのインサービスソフトウェアアップグレード』の章の手順を参照してください。オプションで、ISSUアップグレード後にredundancy force-switchoverコマンドを使用してプライマリコントローラにフォールバックできます。

---

## 潜在的な問題

### 問題1：接続がタイムアウト

TFTPサーバが到達不能になると、接続タイムアウトが発生する可能性があります。

```
<#root>
```

```
install_add: START Tue Feb 6 18:12:02 Pacific 2024  
Downloading file tftp://10.31.104.72//ayhusain/C9800-L-universalk9_wlc.17.09.05.SPA.bin  
FAILED:
```

Failed to download file

tftp://10.31.104.72//ayhusain/C9800-L-universalk9\_wlc.17.09.05.SPA.bin:

Timed out

解決策：TFTPサーバが起動していて到達可能であることを確認するか、ファイル転送プロセスを最初から開始するために別のトランスポートタイプに変更します。

## 問題2：ファイルが無効または破損している

ファイルが破損しているか無効なファイルのためにアップグレードが中断された場合。

<#root>

install\_add: START Tue Feb 6 18:54:46 Pacific 2024

FAILED: install\_add : bootflash:C9800-L-universalk9\_wlc.corrupt\_17.09.05.SPA.bin

is not valid file

or cannot be handled by install CLI.

解決策：verify /md5コマンドを使用して、イメージMD5チェックサムが一致することを確認します。コードが一致しない場合は、シスコのソフトウェアダウンロードサイトからイメージを再度ダウンロードし、コントローラにアップロードします。tftpサーバを使用している場合は、ファイルの変更を避けるために、ファイルをバイナリモードで送信してください。

<#root>

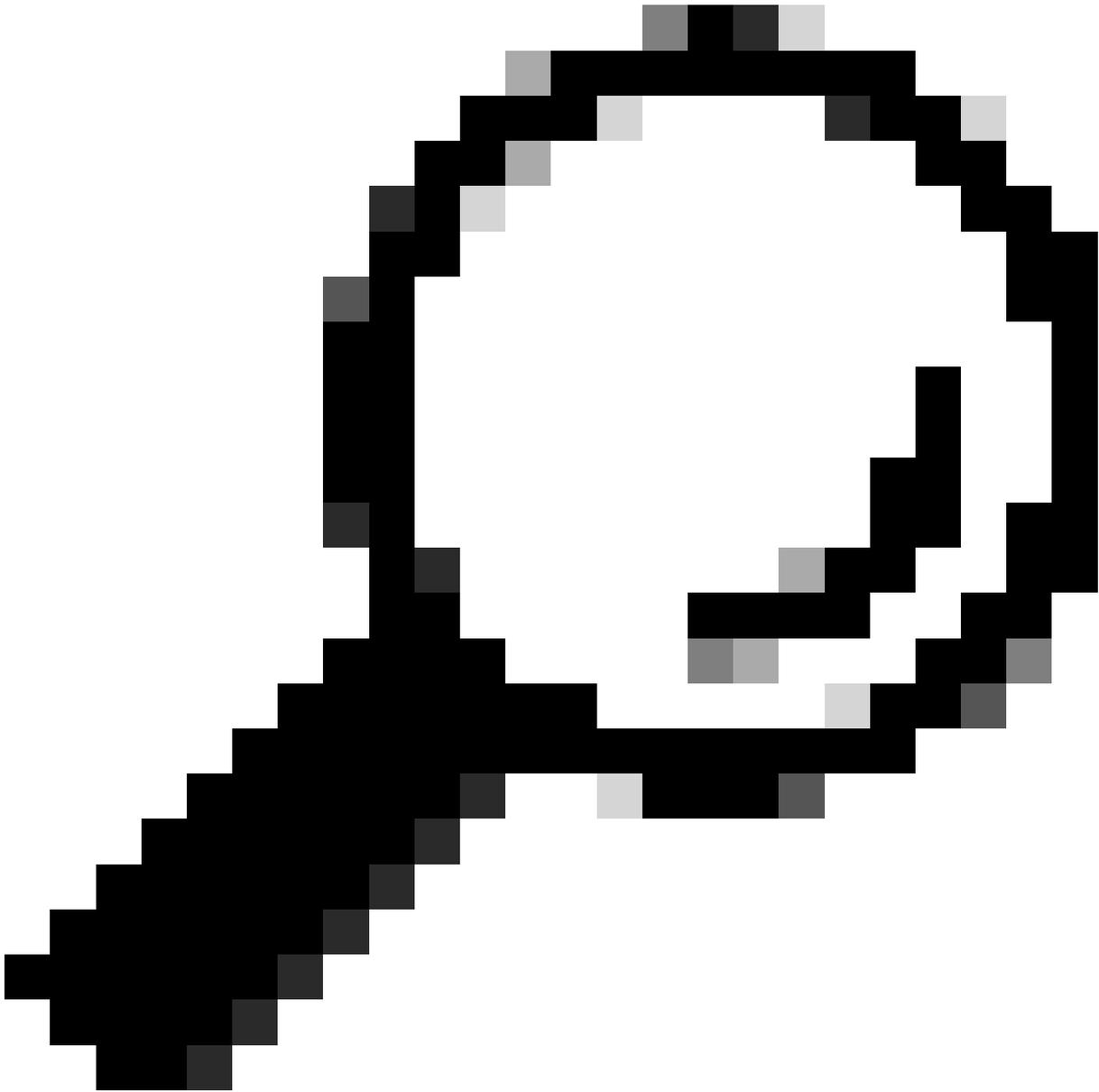
WLC#

verify /md5

bootflash:C9800-L-universalk9\_wlc.17.09.05.SPA.bin

.....Done!  
verify /md5 (bootflash:C9800-L-universalk9\_wlc.17.09.05.SPA.bin) =

07ff2f59787530d2814874ea39416b46



ヒント：接続の問題を防ぎ、アップグレードメンテナンスの時間帯の時間を節約するために、事前にbinファイルをC9800のフラッシュに転送しておきます。

---

問題3：インストール操作が許可されない。

このシナリオは、install activate issuコマンドを実行してからAPの事前ダウンロードを完了する場合に適用されます。

<#root>

```
install_activate: START Tue Feb 6 19:09:10 Pacific 2024
System configuration has been modified.
Press Yes(y) to save the configuration and proceed.
Press No(n) for proceeding without saving the configuration.
Press Quit(q) to exit, you may save configuration and re-enter the command. [y/n/q]
```

```
y
Building configuration...
[OK]Modified configuration has been saved
install_activate: Activating ISSU
NOTE: Going to start Activate ISSU install process
STAGE 0: System Level Sanity Check
=====
--- Verifying install_issu supported ---
--- Verifying standby is in Standby Hot state ---
--- Verifying booted from the valid media ---
--- Verifying AutoBoot mode is enabled ---
--- Verifying Platform specific ISSU admission criteria ---
CONSOLE: FAILED: Install operation is not allowed.

Reason -> AP pre-image download is mandatory for hitless software upgrade.
```

```
Action -> Trigger AP pre-image download.
FAILED: Platform specific ISSU admission criteria
ERROR: install_activate exit(2 ) Tue Feb 6 19:09:43 Pacific 2024
```

解決策：このような場合、ap image pre-downloadコマンドを実行し、APプレダウンロードが完了してからアクティベーションに進みます。APのダウンロードが遅い場合は、APとコントローラ間のリンクを確認します。

<#root>

```
WLC#terminal monitor
WLC#
```

```
ap image predownload
```

```
*Feb 12 13:26:21.829: %UPGRADE-5-AP_SW_UPDATE_LOG_MSG: Chassis 1 R0/0: wncmgrd: AP SW update PREPARE:
predownload is in progress
```

```
WLC#
```

```
show ap image
```

```
Total number of APs : 9
Number of APs
Initiated : 0
Downloading : 0
Predownloading : 0
Completed downloading : 1
Completed predownloading : 1
Not Supported : 0
Failed to Predownload : 0

Predownload in progress : Yes
```

```
AP Name Primary Image Backup Image Predownload Status Predownload Version Next Retry Time Retry Count M
```

```
-----
AP00f6.63c8.6a14 17.9.4.27 17.9.5.47 Complete 17.9.5.47 0 0 CAPWAP
AP38ED.18C6.0C60 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
AP70D3.79D6.0A00 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
AP7488.BB66.1CF2 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
AP4C71.0DC8.9D3A 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
AP6C71.0DF4.29CC 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
APA4B2.3986.C900 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
APC828.E56F.6190 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
APA453.0E5B.3E30 17.9.4.27 17.9.5.47 None 0.0.0.0 N/A 0 N/A
```

WLC#

\*Feb 12 13:36:32.832: %UPGRADE-5-AP\_SW\_UPDATE\_LOG\_MSG: Chassis 1 R0/0: wncmgrd:

AP SW update Predownload is successful

.

<--AP predownload completed

WLC#

install activate issu

<-- Then activate ISSU upg

install\_activate: START Mon Feb 12 13:26:50 Pacific 2024

install\_activate: Activating ISSU

\*Feb 12 13:26:50.895: %INSTALL-5-INSTALL\_START\_INFO: Chassis 1 R0/0: install\_engine: Started install ac  
NOTE:

Going to start Activate ISSU install process

#### 問題4：以前のバージョンへのシステムのロールバック。

ISSUのアップグレード中によくあるイベントは、アップグレードが完了した後、システムが自動的に以前のバージョンにロールバックする現象です。新しいイメージをアクティブ化した後でシステムがリロードすると、auto-abort-timerがトリガーされます。新しいイメージをコミットする前にタイマーが切れると、インストールプロセスは中断されます。デバイスは再ロードされ、以前のバージョンのソフトウェアイメージで起動します。

解決策：この問題を回避するには、「install activate issu」コマンドを実行してから6時間（デフォルト時間）以内に「install commit」コマンドを実行してください。そうしないと、コミットされた元の位置に戻ってしまう可能性があります。

<#root>

WLC#

show issu state detail

Current ISSU Status: In Progress

Previous ISSU Operation: N/A

=====

System Check	Status
Platform ISSU Support	Yes
Standby Online	Yes
Autoboot Enabled	Yes
SSO Mode	Yes
Install Boot	Yes
Valid Boot Media	Yes
Operational Mode	HA-REMOTE

Added Image:	
Name	Compatible
17.09.05.0.6450	Yes

Operation type: Step-by-step ISSU  
 Install type : Image installation using ISSU  
 Current state : Activated state  
 Last operation: Switchover

Completed operations:  
 Operation Start time  
 -----  
 Activate location standby chassis 2/R0 2024-02-12:13:27:12  
 Activate location active chassis 1/R0 2024-02-12:13:38:43  
 Switchover 2024-02-12:13:43:10  
 State transition: Added -> Standby activated -> Active switched-over

Auto abort timer: automatic, remaining time before rollback: 04:25:37 <-- Remaining time before rol

Abort Reason: N/A  
 Running image: bootflash:packages.conf  
 Operating mode: sso, terminal state reached

WLC#

show install summary

[ Chassis 1/R0 2/R0 ] Installed Package(s) Information:  
 State (St): I - Inactive, U - Activated & Uncommitted,  
 C - Activated & Committed, D - Deactivated & Uncommitted

Type	St	Filename/Version
IMG	U	17.09.05.0.6450

<-- System is activated but uncommitted

Auto abort timer: active , time before rollback - 04:25:52

<-- Remaining time before rollback

WLC#

install commit

<-- Commit the new code

install\_commit: START Mon Feb 12 15:20:35 Pacific 2024

install\_commit: Committing ISSU

\*Feb 12 15:20:36.362: %INSTALL-5-INSTALL\_START\_INFO: Chassis 2 R0/0: install\_engine: Started install co

NOTE: Going to start Commit ISSU install process

STAGE 0: System Level Sanity Check

=====

--- Verifying install\_issu supported ---

--- Verifying standby is in Standby Hot state ---

--- Verifying booted from the valid media ---

--- Verifying AutoBoot mode is enabled ---

--- Verifying Platform specific ISSU admission criteria ---

Finished Initial System Level Sanity Check

STAGE 1: Dispatching the commit command to remote

=====

--- Starting install\_commit\_remote ---

Performing install\_commit\_remote on Chassis remote

[1] install\_commit\_remote package(s) on chassis 1/R0

[1] Finished install\_commit\_remote on chassis 1/R0

install\_commit\_remote: Passed on [1/R0]

Finished install\_commit\_remote

SUCCESS: install\_commit Mon Feb 12 15:21:12 Pacific 2024

WLC#

\*Feb 12 15:21:12.367: %INSTALL-5-INSTALL\_COMPLETED\_INFO: Chassis 2 R0/0: install\_engine: Completed inst

WLC#

show issu state detail

<-- Verify ISSU state is successful

Current ISSU Status: Enabled

Previous ISSU Operation: Successful

=====

System Check Status

-----

Platform ISSU Support Yes

Standby Online Yes

Autoboot Enabled Yes

SSO Mode Yes

Install Boot Yes

Valid Boot Media Yes

Operational Mode HA-REMOTE

=====

No ISSU operation is in progress

WLC#

show install summary

<-- Verify new code is Activated & Committed

[ Chassis 1/R0 2/R0 ] Installed Package(s) Information:  
State (St): I - Inactive, U - Activated & Uncommitted,  
C - Activated & Committed, D - Deactivated & Uncommitted

-----  
Type St Filename/Version  
-----

IMG C 17.09.05.0.6450

-----  
Auto abort timer: inactive  
-----

( オプション ) auto-abort-timerを停止するには、install auto-abort-timer stopコマンドを使用します。これにより終了タイマーが停止し、デフォルトのauto-abort時間を過ぎるとアップグレードプロセスは終了しません。

<#root>

WLC#

install auto-abort-timer stop

install\_auto\_abort\_timer: START Mon Feb 12 15:13:59 Pacific 2024  
Abort timer cancelled, auto-rollback will not take place  
Please use 'install abort issu' to rollback the ISSU upgrade  
SUCCESS: install\_auto\_abort\_timer Mon Feb 12 15:14:00 Pacific 2024

WLC#

show install summary

[ Chassis 1/R0 2/R0 ] Installed Package(s) Information:  
State (St): I - Inactive, U - Activated & Uncommitted,  
C - Activated & Committed, D - Deactivated & Uncommitted

-----  
Type St Filename/Version  
-----

IMG U 17.09.05.0.6450

<-- You still need to commit new image to persist

-----  
Auto abort timer: inactive <-- Remaining time before rollback. Commit still needed for new image to per  
-----

( オプション ) 自動中断タイマーを変更するには、activate issu auto-abort-timerコマンドを使用  
します。これは、イメージをアクティブにする前に実行できます。

<#root>

WLC#

install activate issu auto-abort-timer

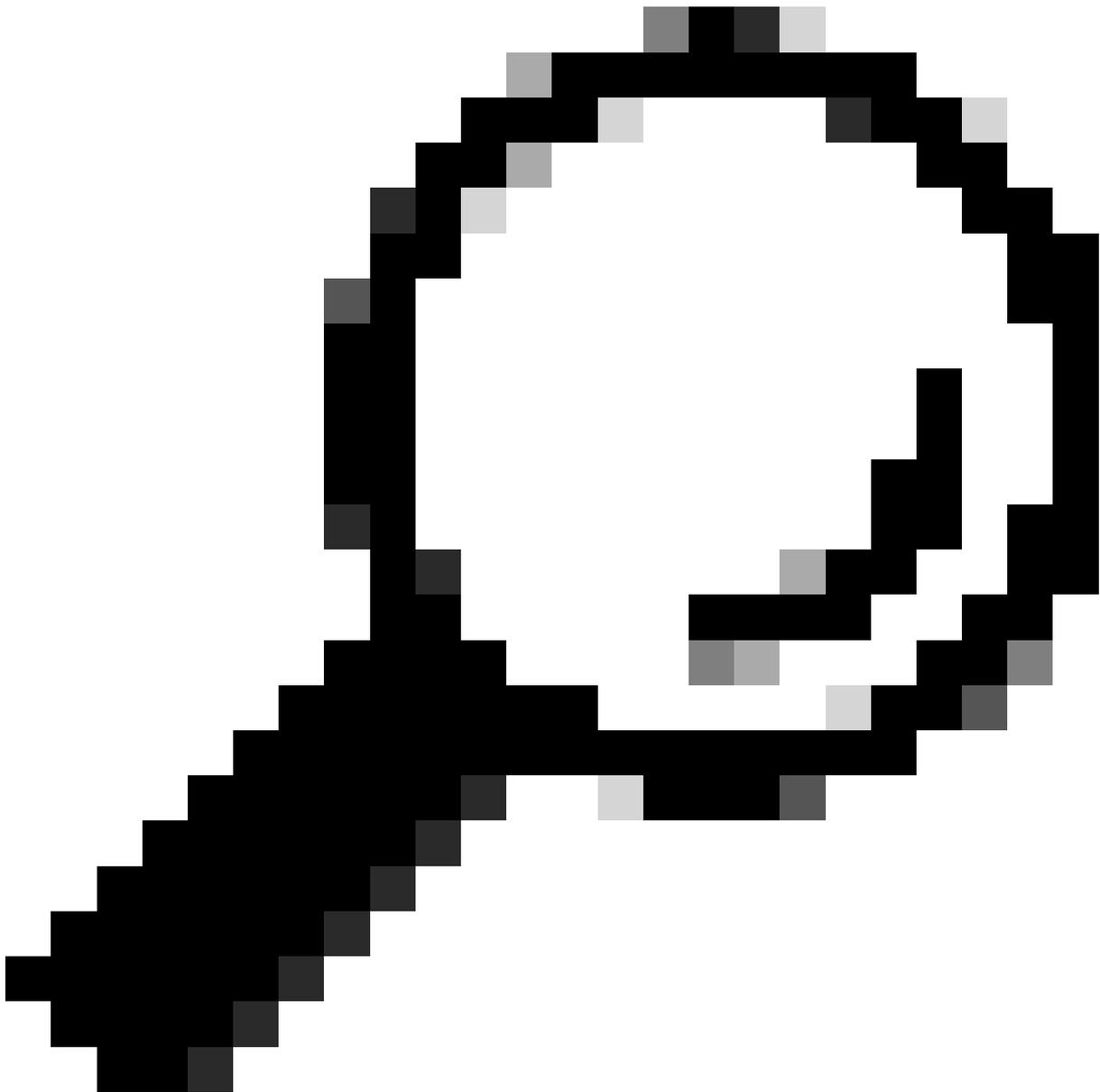
?

<30-1200> Number of minutes the abort-timer is set for

## 問題5：設定の互換性

一部の設定は新しいIOS-XEバージョンと互換性がなく、アップグレード中に問題を引き起こす可  
能性があります。設定の同期が失敗すると、スタンバイコントローラがリロードされ、元のソフ  
トウェアイメージにロールバックされます。

設定の問題を解決するには、問題の設定を削除します。ISSUのアップグレード中に発生する、最  
も一般的な設定互換性の問題のリストを提供します。



ヒント：ソフトウェア変更の重要な詳細、およびアップグレード前に考慮すべき設定の調整については、ターゲットイメージのリリースノートの「アップグレード前」セクションを必ず確認してください。

---

#### コマンドリストの不一致 – クラウドコントローラでのHAインターフェイスの不一致

ISSUアップグレードでよくあるエラーは、C9800-CL WLCで異なるHigh Availability(HA)インターフェイスが定義されているために、アクティブコントローラでコマンドリスト(MCL)の不一致によりISSUの動作が終了する場合があります。

解決策：コントローラに異なるHAインターフェイスがある場合、ISSUは使用できません。コントローラを再導入し、仮想環境のHAインターフェイスのマッピングが両方のコントローラで同じであることを確認します。

---

注: 『クラウド向けCisco Catalyst 9800-CLワイヤレスコントローラ導入ガイド』の「9800-CLネットワークインターフェイスマッピング」セクションを参照してください。

---

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show redundancy config-sync failures historic mcl
```

```
Mismatched Command List
```

```
-----
```

```
-interface GigabitEthernet3          <-- Gi3 is detected as MCL leading to config sync failure.
```

```
! <submode> "interface"  
negotiation auto  
no mop enabled  
no mop sysid  
! </submode> "interface"
```

WLC#

```
show romvar
```

```
ROMMON variables:  
SWITCH_NUMBER = 1  
CHASSIS_HA_IFNAME = GigabitEthernet3
```

```
<-- HA Interface differs
```

```
CHASSIS_HA_IFMAC = XX:XX:XX:XX:XX:XX  
SWITCH_PRIORITY = 2
```

WLC-stby#

```
show romvar
```

```
ROMMON variables:  
SWITCH_NUMBER = 2  
CHASSIS_HA_IFNAME = GigabitEthernet1
```

```
<-- HA Interface differs
```

```
CHASSIS_HA_IFMAC = YY:YY:YY:YY:YY:YY  
SWITCH_PRIORITY = 1
```

## コマンドリストの不一致 – ドメイン

Cisco IOS 17.3.xからISSUを使用する任意のリリースへのコントローラのアップグレードは、domainコマンドが設定されている場合に失敗する可能性があります。

解決策：domainコマンドはCisco IOS 17.6.xから削除されているため、ISSUアップグレードを開始する前にno domainコマンドを実行します。

```
<#root>
```

WLC#

```
show redundancy config-sync failures mcl
```

```
Mismatched Command List
```

```
-----
```

```
-domain example.local. <-- Run "no domain" from configuration
```

```
! <submode> "cent_domain"  
! </submode> "cent_domain"
```

## コマンドリストの不一致 – HSRPトラップ

snmp-server enable traps hsrpコマンドが設定されている場合、Cisco IOS 17.3.xからISSUを使用

する任意のリリースへのコントローラのアップグレードが失敗する可能性があります。

解決策：ISSUアップグレードを開始する前に、snmp-server enable traps hsrpコマンドを設定から削除します。これは、このコマンドがCisco IOS 17.4.xから削除されているためです。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show redundancy config-sync failures mcl
```

```
Mismatched Command List
```

```
-----
```

```
-snmp-server enable traps hsrp
```

```
<-- Remove hsrp trap
```

パーサーリターンコード – WPA3 AKMが無効です

認証キー管理(AKM)を使用しないWPA3で誤って設定されたWLANがある場合、ISSUを使用したCisco IOS 17.9.x以降へのコントローラのアップグレードが失敗する場合があります。Cisco IOS 17.9.xリリース以降では、有効な組み合わせが必須であり、WPA3のAKMパラメータの適用が必要です。ISSUプロセス中にWLCが無効なWPA3設定を検出すると、設定の同期が失敗します。解決策：この状況を回避するには、ISSUアップグレードを開始する前に、WPA3に適切なAKMを設定します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show redundancy config-sync failures prc
```

```
PRC Failed Command List
```

```
-----
```

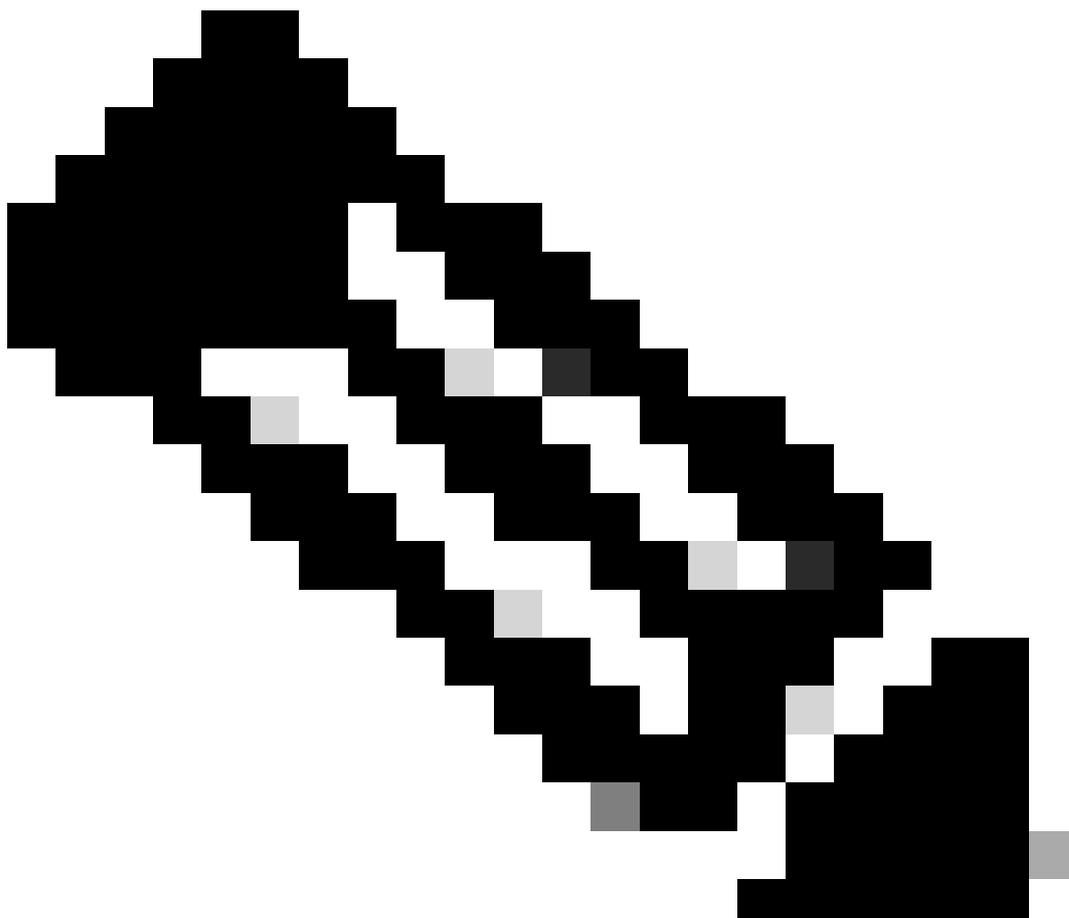
```
wlan test 1 test
```

```
! <submode> "wlan"
```

```
- no shutdown <-- The wlan shuts down due to the invalid WPA3 configuration
```

```
! </submode> "wlan"
```

---



注:WPA3の設定については、『Cisco Catalyst 9800シリーズワイヤレスコントローラソフトウェアコンフィギュレーションガイド』の「Wi-Fi Protected Access 3」の章を参照してください

---

## ソフトウェアのインストールの中止

### インストールの中断の問題

install abort issucommandを使用してソフトウェアイメージのアクティベーションを手動で中止し、現在のプロセスをキャンセルして、新しいソフトウェアをインストールする前に実行していたバージョンにシステムを戻すことができます。このコマンドは、install commitcommandを実行する前に使用します。

```
<#root>
```

```
WLC#terminal monitor  
WLC#
```

```
install abort issu
```

```
install_abort: START Fri Jan XX 16:50:00 EDT 2024  
<5>%INSTALL-5-INSTALL_START_INFO: R0/0: install_engine: Started install abort ISSU
```

完了したら、ISSUのステータスを確認します。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
show issu state detail
```

```
Current ISSU Status: Enabled
```

```
Previous ISSU Operation: Abort Successful
```

```
=====  
System Check Status  
-----
```

```
Platform ISSU Support Yes
```

```
Standby Online Yes
```

```
Autoboot Enabled Yes
```

```
SSO Mode Yes
```

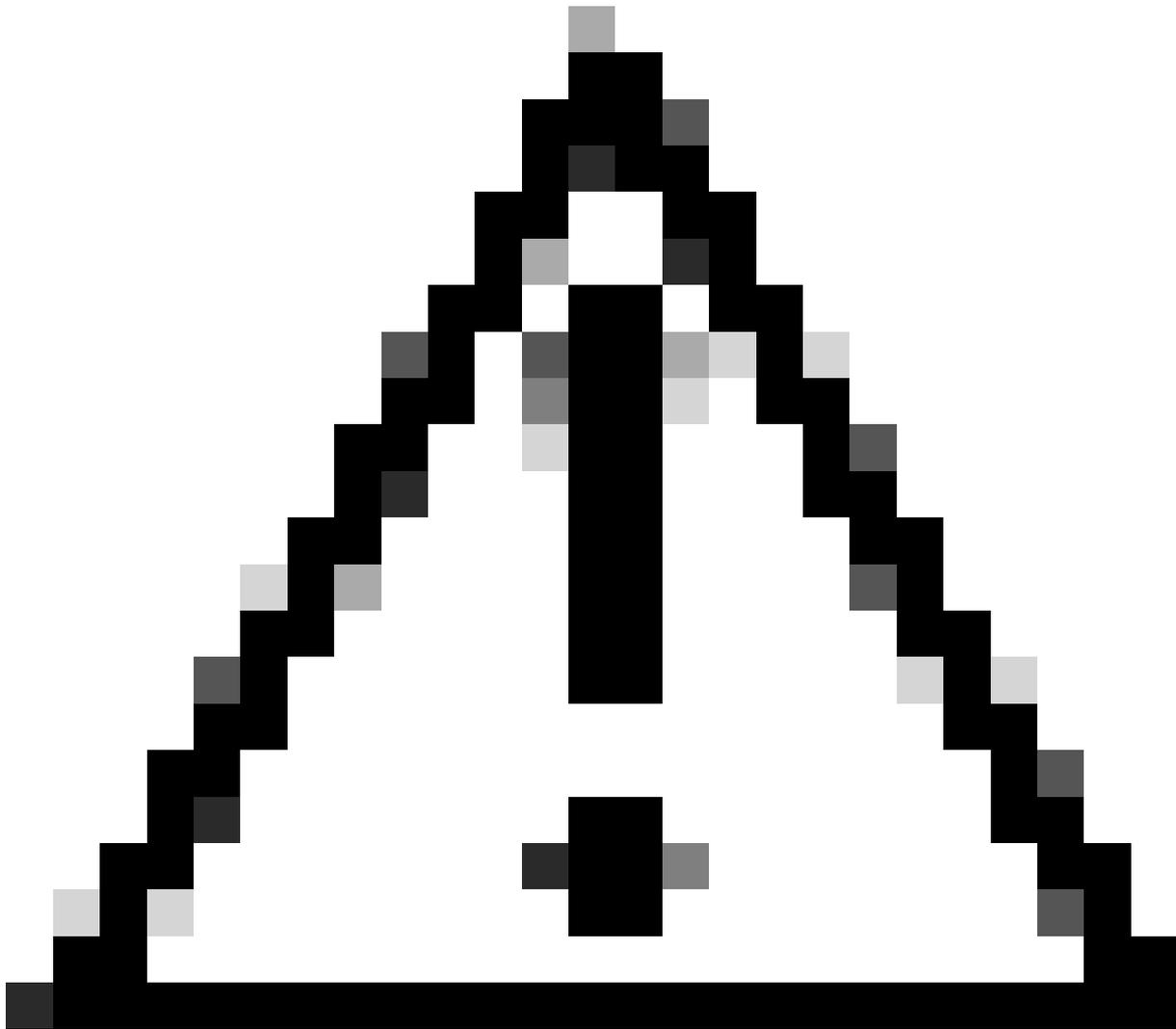
```
Install Boot Yes
```

```
Valid Boot Media Yes  
=====
```

```
No ISSU operation is in progress
```

## インストール状態のクリア

abortコマンドを発行してクリアできなかった不要なISSU操作がある場合は、手動で内部インストール状態をクリーンアップできます。



注意：インストール状態のクリアプロセスではリロードが必要になる場合があるため、この手順は慎重に使用してください。

---

1. グローバルコンフィギュレーションモードでService Internalを有効にします。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
conf t
```

```
WLC(config)#
```

```
service internal
```

```
WLC(config)#
```

```
end
```

2. clear install stateコマンドを使用して、ISSU状態をクリアします。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
clear install state
```

3. show install summaryおよびshow issu state detailコマンドを使用して、インストール状態を確認します。

4. グローバルコンフィギュレーションモードでService Internalを無効にします。

```
<#root>
```

```
WLC#
```

```
conf t
```

```
WLC(config)#
```

```
no service internal
```

```
WLC(config)#
```

```
end
```

## 確認

アップグレードプロセスを確認し、不一致コマンドリストを確認する。

```
#show install summary  
#show issu state detail  
#show install log  
#show chassis rmi  
#show redundancy  
#show ap image  
#show redundancy config-sync failures mcl  
#show redundancy config-sync failures historic mcl  
#show redundancy config-sync failures bem  
#show redundancy config-sync failures prc
```

## 関連情報

- [シスコワイヤレスソリューションソフトウェア互換性マトリックス](#)

- [Catalyst 9800 ワイヤレス LAN コントローラの推奨 Cisco IOS XE リリース](#)
- [Catalyst 9800コントローラのアップグレードとダウングレード：ヒントとテクニック](#)
- [C9800のインストールモードの変更](#)
- [C9800推奨ROMMONバージョン](#)
- [リリース間のISSUサポート](#)
- [Catalyst 9800でのハイアベイラビリティSSOの設定 | クイックスタートガイド](#)
- [C9800 ISSUのアップグレードプロセス](#)
- [ホットパッチおよびISSUアップグレードガイド](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。